

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施 設 名 : 筑後広域公園
- 2 指 定 管 理 者 名 : 筑後広域公園振興事業団（代表団体 株式会社アクセス・ジャパン）
- 3 指 定 期 間 : 令和5年4月1日～令和10年3月31日
- 4 施 設 設 置 目 的 : 都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。
- 5 管理運営についての点検結果（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
 - (1) 点 検 方 法 : 事業報告書、現地確認、ヒアリング等をもとに、指定管理者の管理運営実施状況の点検を行った。
 - (2) 点 検 結 果 : 別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	・ きめ細かな経営手法の導入と公民協働の理念に基づいた管理運営により、顧客満足度の向上を目指す。 ・ ペットマナーの悪さ等の迷惑行為には、粘り強く声掛けを行っていく。	・ 広大な面積を有する自然豊かな公園として、スポーツ、レクリエーション、宿泊など多種多様な施設の維持管理及び運営を適切に行っている。 ・ 犬の糞の放置やリードを付けない散歩に対して、巡視員による声かけ、園内放送で注意指導を行っている。また、糞の放置が多い場所には監視カメラを設置する等、状況確認を行っている。
②施設利用及びサービス向上	・ ホームページやSNS、主要駅へのポスター掲示により情報発信を図る。 ・ フラワーゾーンにて、利用者を楽しませる取り組みを行う。 ・ 専門家によるドッグスクールなど犬と人間が共生できる場所としてイベントを開催していく。 ・ BMXパークを活かした、BMX競技の普及及び振興を図る。	・ ホームページやフェイスブックでの情報発信に努めた。また、一部のイベントについて、JR駅、芸文館、筑後市観光案内所等にポスターを掲示している。 ・ 花の開花に合わせ、利用者に向けて花の説明看板を設置し、利用者を楽しませる取り組みを継続して行っている。 ・ ドッグランでは、専門家によるドッグスクールを定期的で開催したり、フリスビードッグ大会が開催されている。またリピーターや県内外からの利用も多くあっており、登録数も増加している。 ・ 供用開始前に他県のBMX施設の情報を収集し、円滑に施設運営が始められるよう努めた。また、BMXパークの供用開始に伴いパンフレットの更新を行った。 ・ 体育館、宿泊施設、プール等利用者数:312,193(人・頭) (対前年比99.0%、対H30年度比129.5%)

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	・各種団体への働きかけやイベント誘致等により、利用者数の増加を図る。	・公園の宿において、ネット予約やフェイスブックを活用した集客活動を継続的に行い、利用者数の確保に努めている。 ・体育館、宿泊施設、プール等利用料金収入実績：79,725千円（対前年度比104.9%、対H30年度比133.7%） ・委託料実績額：496,268千円（対前年度比112.3%、対H30年度比139.4%）
④職員確保方策及び健全な財政基盤	・多方面の実務経験者により現場の対応力を確保できる人材を確保する。	・公園管理業務に精通した実務経験者が引き続き従事し、円滑な管理運営を行っている。 ・経験豊富な樹木医を管理責任者として配置している。
⑤施設管理上の個別事項	・緊急時対策教育を行う。	・防火管理者の資格を持った職員による勉強会を実施したほか、緊急時マニュアルを職員に配布し、一部を拡大して事務所内に掲示している。 ・緊急時に備えて、筑後市とみやま市の消防署と協議しドクターヘリ着陸の公園使用許可を行っている。

②点検結果

☐ A+（提案内容を上回った） ☐ A（提案内容をやや上回った） ☒ B（概ね提案内容どおり） ☐ C（提案内容をやや下回った） ☐ D（提案内容を下回った）	【総合コメント】 広大な面積を有する自然豊かな公園として、スポーツ、レクリエーション、宿泊など多種多様な施設の維持管理及び運営を適切に行っている。 ドッグランではドッグスクールやフリスビードッグ大会開催などの利用促進を行い、リピーターや県内外からの利用も多い。 BMXパークの供用開始前に他県のBMX施設の情報を収集し、円滑に施設運営が始められるよう努めた。また、BMXパークの供用開始に伴いパンフレットの更新を行い、利用促進を図った。 ネット予約やフェイスブックを活用した集客活動を継続的に行い、公園の宿の集客活動に継続して取り組んでいる。 以上のように、概ね提案内容どおり、適切な管理運営が行われている。
---	--